

こもれび

Koganei Rehabilitation Hospital INFORMATION



手には**技術** 頭には**知識** 患者様には**愛**を

Contents

- こもれびトピックス**
医療連携会 / 全館停電検査 / 慰労会 / 医療を考える会 / 前期避難訓練
府中第五中学職場体験 / 令和7年9月・令和7年10月 行事食 / ちょっと一息
看護部だより
- 会津の冬 郷土料理と健康**
リハビリコラム
- 3Dプリント自助具デザインコンテストに出場しました**
栄養科コラム
- 寒さに負けない!食事で免疫力を高めよう**
薬局コラム
- 薬局ひとくちメモ**
- 医療連携室から**
- むすびプロジェクト**



こもれび

トピックス

医療連携会 【令和7年9月18日】

令和7年9月18日(木)に第8回カマチグループ医療連携会(東京・埼玉)が帝国ホテル東京にて行われました。当日は足元の悪い中、遠方にも関わらず、当院からご招待したお客様は80名ほどご参加いただきました。

日頃より地域医療のためにより良い連携を図らせて頂いている方々へ、直接、感謝の思いを伝えられた、いい機会となりました。

医療連携室 看護師 若井



前期避難訓練 【令和7年10月29日】

令和7年10月29日水曜日院内にて職員協力のもと火災を想定した避難訓練を行いました。エアストレッチャーを使用した護送等、新たな試みはありましたが全体に円滑な避難が行えたと思います。

実際の災害が起きた際に備え、今後も様々な状況を想定した訓練を行っていきます。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。 総務課 船田



府中第五中学職場体験

中学生の職場体験を受け入れ、院内がいつも以上に明るい雰囲気になりました。初めは緊張していた様子も見られましたが、患者さんへの挨拶やスタッフとの関わりを通して、次第に自信を持って行動できるようになっていました。医療の現場に興味を持ち、学ぼうとする姿勢がとても印象的でした。今回の体験が、将来の進路を考えるうえで良いきっかけになれば嬉しく思います。

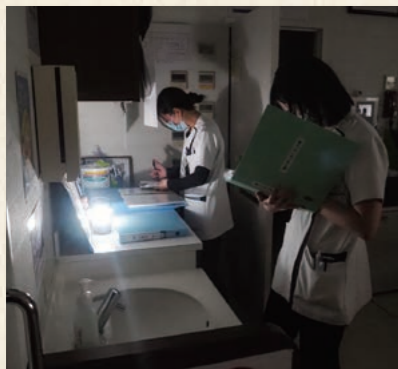


看護部 看護師 内田

全館停電検査 【令和7年10月11日】

いざという時に備え、今年で5回目となる全館停電検査を10月11日土曜日に実施しました。患者様の安全を第一に、全部署一丸となり当日を迎えました。直前まで天気の予測が難しく、小雨の中の実施となりました。ランタンや非常灯だけではかなり暗くなり、ご不便をお掛け致しました。回を重ねる度に改善され、皆様のご協力により何事もなく約2時間で無事終了しました。来年もご協力をお願いします。

総務課 佐々木



慰労会 【令和7年10月16日】

先日の慰労会では、病院が準備してくださった美味しい食事をいただきながら、他の職種・病棟の方々と交流し、とても有意義な時間を過ごすことができました。改めてチーム医療の大切さを実感するとともに、同じ職場で働く皆さんへの感謝の気持ちが一層深まりました。このような素敵な機会を設けていただき、ありがとうございました。

看護部 看護補助者 望月



医療を考える会 【令和7年10月25日】

第4回医療を考える会～キャリアと多職種連携を考える～ポスターセッション

10月25日、令和健康科学大学にて行われた医療を考える会に参加してきました。当院からは、看護師4名、セラピスト3名、MSW1名、総務課1名の9名が参加しました。その中でポスターセッションがあり、各病院が多職種で取り組んでいる活動が発表されました。当院は「身体拘束最小化委員会」の活動を発表し、金賞を頂きました。ここ1年間、身体拘束について職員一人一人が真摯に取り組んだ結果だと思われ、とても嬉しかったです。

看護部長室 近野



9月行事食 敬老の日

9月の行事食は敬老の日をテーマとしました。毎回好評の天ぷら、旬の食材を使用した栗ご飯・きのこ汁・ぶどうゼリーを提供いたしました。



- ★栗ご飯
- ★きのこ汁
- ★天ぷら盛り合わせ
- ★ほうれん草の柚子浸し
- ★ぶどうゼリー

10月行事食 秋のお楽しみランチ

木犀の甘い香りがただよふ季節となりました。10月の行事食は行楽シーズンにちなみ「秋のお楽しみランチ」とさせていただきます。



- ★たまごサンド
- ★ハムサンド
- ★秋野菜グリル
- ★パンプキンスープ
- ★紫芋プリン

ちょっと一息 年末年始の過ごし方～昭和と令和～

昭和の年末年始といえば、大掃除をしておせち料理を作り、年越しそばを食べながら新年を迎え、親戚が集まり子どもはお年玉楽しみに、大人は家でゆっくり寝正月。年賀状を眺めながら、お正月番組を家族で見ると。そんな光景を思い浮かべるのではないのでしょうか。最近の年末年始は休みを利用して家族で旅行に行ったり、友達同士でカウントダウンイベントに行くことも。おせち料理もお取り寄せが主流です。年賀状の発行部数は減少しましたが、メールやSNSでも新年のご挨拶は続いているようです。

時代が変わっても、大切な人と過ごす大事な時間であることには変わらないのかもしれないですね。みなさんは年末年始をどのように過ごしますか？ 医事課 笹子



3Dプリント自助具デザイン コンテストに出場しました

リハビリテーション科 作業療法士 高田

ICTリハビリテーション研究会が主催する「3Dプリント自助具デザインコンテスト」にリハビリテーション科3Dプリンターサークルが出場しました。

私たちは今年2月から、11名のメンバーで活動を開始し、これまでも様々な自助具を制作してきました。

当サークルからは片手でカップデザートを開けるための自助具「One hand cup opener」を出品、全54のエントリーの中から、最終選考9作品に残り、見事審査員特別賞を受賞しました。

今回の作品は、「片手でカップデザートを開けるのが難しい」「配膳の際にゼリーやプリンの開封を頼まないといけない」といった患者様の声に着目して誕生したものです。

実際に患者様にも試していただき、吸盤の強さや溝の形状・高さを細かく調整し、どんな大きさのカップにも対応できる使いやすい製品に仕上げました。さまざまなカップに対応でき、4個パックのヨーグルトや豆腐の容器も簡単に開けられます。

3Dプリントによる自助具は好評をいただき、愛用して下さる患者様も増えています。今後も、日々の生活をより快適にするためのアイデアを形にし、リハビリや生活支援の一助となる活動を続けていきます。



看護部だより

会津の冬 郷土料理と健康



私の故郷は福島県会津若松です。会津若松は雪深く、厳しい冬を迎える地域です。郷土料理には、この土地の知恵と工夫が詰まっています。代表的な物に「こづゆ」があります。これは干し貝柱の贅沢な出汁をベースに山の幸や畑の恵みを煮込んだ汁物で冠婚葬祭には欠かせない伝統料理です。繰り返しおかわりができるように会津塗の平たい器“おひら”で供されるのが特徴です。

また、内陸の山国である会津では海産物を美味しく食べる工夫がされており、「身欠き鯨の山椒漬け」や「棒たら煮」なども親しまれています。これらは乾物を使い、保存性を高めながら栄養を摂取する厳しい環境で生まれた知恵の結晶と言えます。

厳しい冬を健康に乗り切るには、こうした郷土料理から学べる「体を温める食の知恵」が重要です。

1 適切な保温を心がけ、室温を快適に保つ。



2 感染予防の基本である手洗い、うがいを徹底する。



3 適度な運動で血流を促す。(室内での簡単なストレッチや体操でもOK!)



4 免疫力を高める食材を積極的に取り入れる。(会津の郷土料理のように乾燥した海産物や豆類、根菜など)



上記のことを心掛け、健康を維持しましょう。

看護部 看護補助者 林

栄養科コラム

寒さに負けない！食事で免疫力を高めよう

栄養科
管理栄養士 網代

朝晩の冷え込みが強まり、体調を崩しやすい季節になってきました。寒さや乾燥、ストレス、睡眠不足など、さまざまな要因で免疫力は低下しやすくなります。そんな時こそ、毎日の食事で体の内側から整えることが大切です。免疫細胞の材料となるたんぱく質をはじめ、ビタミンC（ブロッコリー・みかん）やビタミンE（アーモンド・かぼちゃ）、β-カロテン（にんじん・ほうれん草）などの抗酸化ビタミンを意識して摂りましょう。また、腸は免疫の約7割を担うといわれています。ヨーグルトや納豆、味噌などの発酵食品で腸内環境を整えることもポイントです。さらに、温かいスープや鍋料理で体を芯から温め、血流を促すのも効果的。栄養と温活を味方につけて、この冬を元気に乗り切りましょう。



薬局コラム

薬局ひとくちメモ

薬剤科 薬剤師 篠崎



入浴について

夏が過ぎ急に空気が冷たくなりました。今回は日本人が好きな入浴についてです。入浴の頻度が週7回以上の高齢者は、週2回以下の人に比べて要介護認定リスクが約3割低いというデータがあるそうです。また、フィンランドではサウナ浴頻度が高いほど死亡率が低いとの報告もあります。これらは入浴によるリラックス効果が抑うつや認知機能低下を予防する可能性、体温上昇による抗炎症作用や細胞保護効果などを挙げています。さらに、入浴に伴う一連の動作と温熱刺激が「一般的な運動と同様のトレーニング効果があると考えられる」との事です。しかし、入浴に伴う転倒や急激な温度変化による脳卒中リスクも報告されていて、発熱や過度な高血圧がある場合は入浴を控えることや、浴室・脱衣所を温かく保つことなどの一般的な注意の他、心疾患や脳血管を有する高齢者への適切な対応が必要だという事も大切です。



医療連携室から

医療連携室は現在、看護師4名、社会福祉士の資格を持つ医療ソーシャルワーカー9名、理学療法士1名が在籍し、患者様と地域との懸け橋となる病院を目指しております。

患者様やご家族様が安心して入院生活が送れるよう、入退院に関わるご相談をお伺いし、必要に応じて介護保険制度や障害福祉制度等の福祉サービスや施設を含めた社会資源の情報提供を行い、地域の様々な機関と連携を取りながら日々業務を行っております。

ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

- 相談窓口 / 1F受付
- 受付時間 / 9:00~16:30(月曜日~金曜日)

小金井リハビリテーション病院
医療連携室

TEL 042-316-3100
FAX 042-316-3222



むすびプロジェクト



「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

福祉と医療の連携について ~列島会・あきの会施設見学の実施~



令和7年6月28日、令和健康科学大学において「福祉と医療の連携を考える会」が開催されました。本会は、列島会・ゆとり・あきの会の3法人が主催し、医療や福祉の現場で実際に行われている支援の取り組みが発表されました。発表では、利用者一人ひとりの個性を尊重した多様な支援のあり方が数多く紹介されました。

今回の会に先立ち、私達は列島会およびあきの会の各施設を見学する機会をいただきました。列島会では、全国でも受注売上が高く、規模の大きな就労支援事業所を展開しており、とりわけ障がいの特性を活かした芸術活動が印象的でした。現在は4名のアーティストの方々が、それぞれの感性を活かして創作に取り組んでいます。あきの会では、「障害児医療生活支援ホーム 虹の家」を運営しており、特に「在宅療養児一時受け入れ支援事業」に力を注いでいます。併設の「なないろ診療所」では、施設利用中に受診や薬の処方も可能で、ご家族のニーズに寄り添った支援が行われている点が大変印象的でした。見学を通じて、患者さんが病院を退院された後の「生活期」にこそ、継続的であたたかな支援が必要であることをあらためて認識する機会となりました。

今回学んだことを今後の活動に生かすために、むすびプロジェクトでは「地域を支え、人に寄り添い、人生を応援する」という理念を大切にしながら、これからも活動を続けてまいります。



新所沢駅から
徒歩7分

病床数
221床



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

所沢美原総合病院

〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3

お問い合わせ

04-2997-8199

■ 所沢美原総合病院HP <https://tmgh.jp/>



未来の健康を
守るのは、
私だ。

看護学科
SCHOOL OF NURSING

理学療法学科
REHABILITATION / PHYSICAL THERAPY

作業療法学科
REHABILITATION / OCCUPATIONAL THERAPY

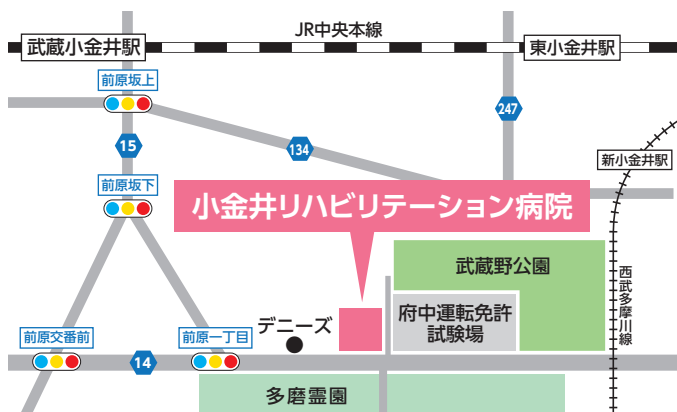


健康な未来を
令和健康科学大学
REIWA HEALTH SCIENCES UNIVERSITY

〒811-0213 福岡市東区和白丘2丁目1番12号
TEL 092-607-6701 (代表) FAX 092-607-6740
HP: <https://www.rhs-u.ac.jp/>
入試・広報 専用 TEL 0800-888-0053



小金井リハビリテーション病院 アクセスマップ



医療法人社団 巨樹の会

小金井リハビリテーション病院

TEL 042-316-3561
FAX 042-316-3562

〒184-0013
東京都小金井市前原町1丁目3番2号

http://www.koganei-rh.net/

info@koganei-rh.net



リハビリテーション科
Instagram



小金井リハビリテーション病院 **検索**